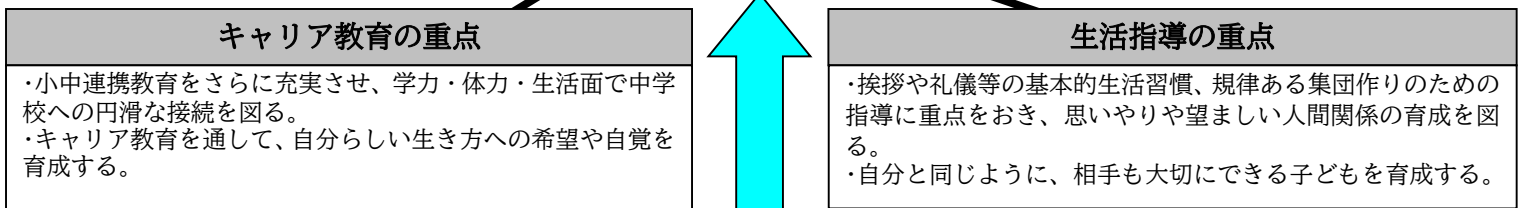
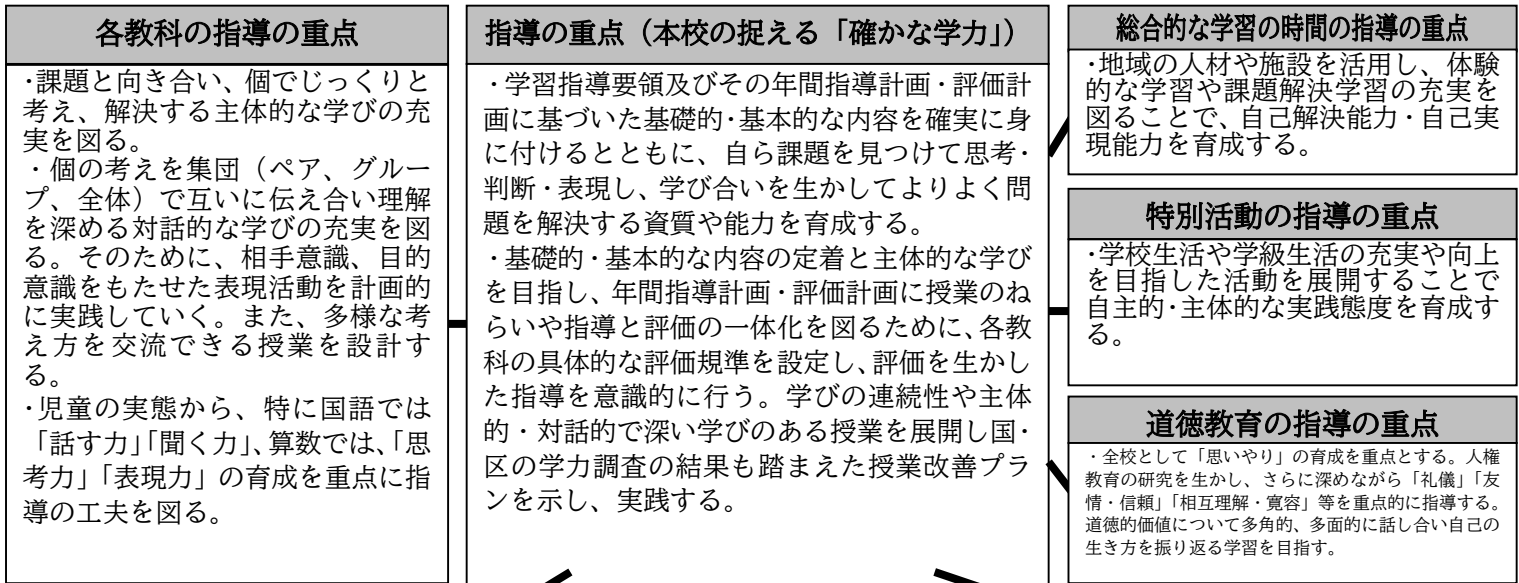


学校教育目標	
○かしこく	学び合いの中で、思考力・判断力・表現力を身に付け、自ら学ぶ子ども
○やさしく	規範意識が高く、相互理解に努め、人のために尽くす子ども
○たくましく	運動に親しみ、心身ともに健康で、体力・気力・意欲に充ちた子ども

令和4年度学校経営方針（学力向上に関わる要点）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○良好な人間関係（教師と子ども、子どもと子ども、教師と保護者、教職員間）を築く。</li> <li>○すべての子どもの違いを受け止め、一人一人に行き届く対応を心がける。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現→学力向上</li> <li>○校内研究（授業改善を実現させる様々なチャレンジの機会に）</li> </ul>



授業改善の視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	評価の工夫	校内研究・研修の工夫	中学校との連携	家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決型学習の定着と充実</li> <li>・ねらいの明確化</li> <li>・学習意欲を引き出す課題の工夫</li> <li>・粘り強く考える場、時間の工夫</li> <li>・学び合う場、時間の工夫</li> <li>・表現（内容や場面の精選、丁寧な「話す」「聞く」「読む」「書く」）の日常化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時数の十分な確保と安定した進行（主体的に思考・表現する時間の確保、対話的に学び合う時間と環境の確保、個別指導のための時間の確保）</li> <li>・朝学習の有効な活用（表現力の向上）</li> <li>・休み時間や放課後等における補充学習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画・評価計画の活用、修正</li> <li>・発言、ノート等の行動観察評価を基にした学びの状況把握と指導法の改善</li> <li>・課題に対する自力解決の振り返りから生まれる児童の自己評価の充実</li> <li>・学び合いから生まれる児童の相互評価の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権意識を育てる授業作りの研究の充実</li> <li>・思考力・判断力・表現力を育成するための授業作りの研究の充実</li> <li>・ICTを活用した授業作りの研究の充実</li> <li>・学び合う教師集団のためのOJT</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携教育協議会を通して、課題を共有しながら共通指導の充実を図る。</li> <li>・小中9年間の指導計画を基にして、系列を意識した指導内容と指導方法を研究し、乗り入れ指導で実践・評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、地域の人材や施設を活用したコミュニティ学習</li> <li>・家庭学習の習慣化（漢字、計算練習や読書・日記、楽器練習等）</li> <li>・学校公開日、学校・学年・学級だより・ホームページ・メール等による情報発信</li> </ul>

学力向上に向けた任期付短時間勤務教員の活用
<ul style="list-style-type: none"> <li>○算数科を中心に授業における全体指導・個別指導の充実を図るためのT・Tとしての活用</li> <li>○休み時間や放課後、夏季休業等における補充学習の充実を図るための活用</li> </ul>